

# 5.1 独占市場

生産者(売り手)がひとつ



価格支配力があって、**消費者の需要関数を知っている**



安ければたくさん売れるが、高ければ売れない

生産量を調整して需要曲線にそって価格を変化させる



**どの生産量を選ぶか？**

目的

利潤の最大化

完全競争市場における均衡と同じ生産量を選ぶことも可能  
but 利潤は本当に最大化されるか？

完全競争市場の場合

(復習)

$$\text{利潤} = \text{総収入 } R - \text{総費用 } C$$

↓

$$P \times Q$$

価格Pは市場から与えられる(所与)

(例)  $P=100$ のとき  $\longrightarrow$  総収入  $R=100Q$

利潤最大化の条件は？

$$P = MC$$

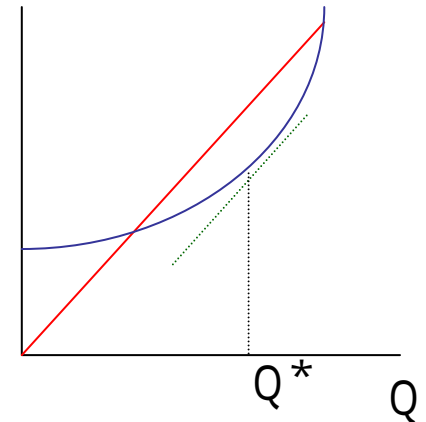
$\longrightarrow$  最適な生産量  
が決まる

$\uparrow$   
もう1単位生産を増やすと  
収入がどれだけ増えるか

(限界収入MR)

$\nwarrow$   
もう1単位生産を増やすと  
費用がどれだけ増えるか

(限界費用)



完全競争市場では限界収入MRは価格Pに等しい

## 独占市場の場合

$$\text{利潤} = \text{総収入 } R - \text{総費用 } C$$

$$\downarrow$$
$$P(Q) \cdot Q$$

需要関数

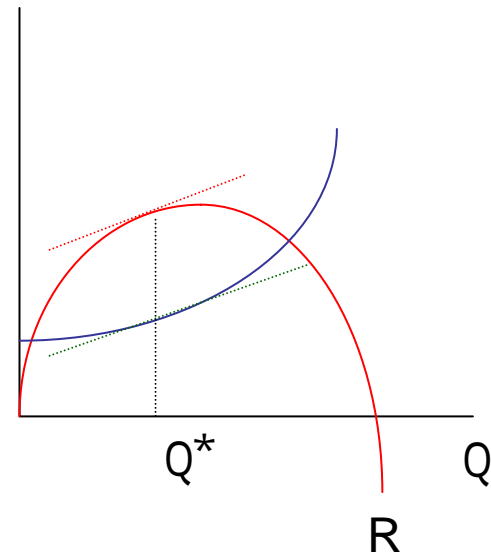
(例)  $P = 100 - Q$  のとき  $\longrightarrow$  総収入  $R = (100 - Q)Q$

利潤最大化の条件は？

限界収入  $MR = MC$   
(総収入曲線  $R$  への接線の傾き)



but 価格  $P$  に等しいか？



### 独占企業の限界収入 $MR$

限界収入は価格よりも小さい ( $MR < P$ )

**MR 曲線は需要曲線よりも下側になる**

(理由) 生産をもう1単位増やすと、**価格が下がってしまうから**

(例) 需要曲線  $P = 100 - Q$

$Q = 20$  のとき  $P =$



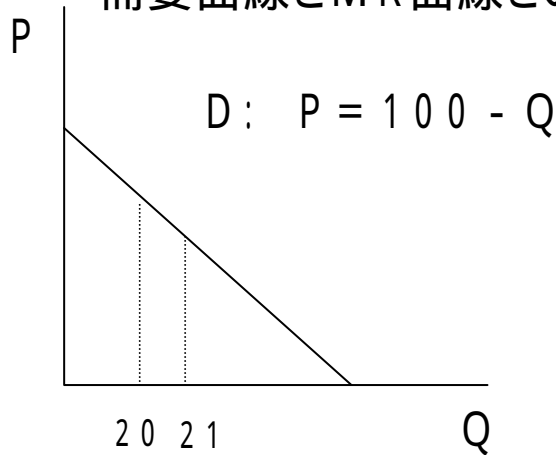
$Q = 21$  のとき  $P =$

総収入  $R =$

$R =$

( $Q = 20$  のとき  
 $MR$  ?)

需要曲線とMR曲線との関係を示すと？



### MRの求め方

MRは総収入曲線Rへの接線の傾き

(生産量ごとに異なる)

↓  
微分

$P = 100 - Q$  の場合

$$R = (100 - Q)Q \\ = 100Q - Q^2$$

よって MR =

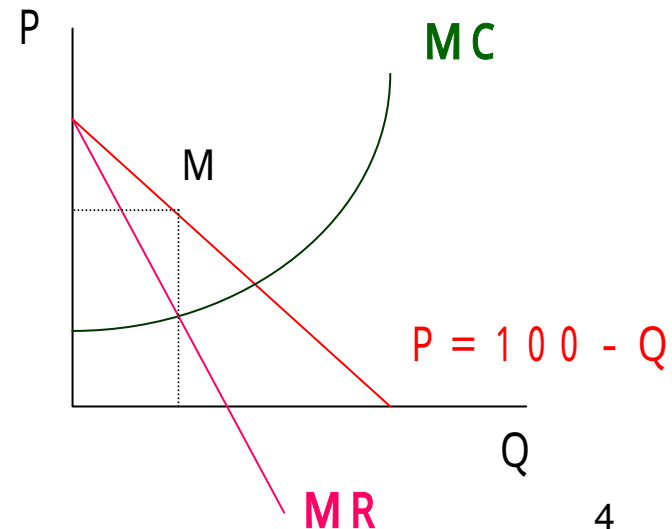
### 利潤最大化の生産量

利潤最大化の条件

$$MR = MC$$

MR曲線とMC曲線の交点で  
決まる生産量

→ 最適な生産量



このときの価格は？

→ 需要曲線上で決まる

図中のM点：最適な生産量と価格との組み合わせ

クールノーの点

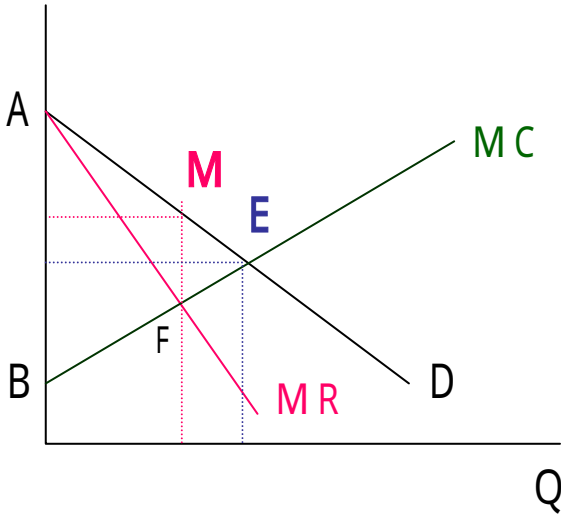
独占の場合

供給曲線は存在しない → 供給点のみ存在する  
(クールノーの点)

(例題) ある独占企業の限界費用曲線および需要曲線が  
 $MC = 3Q$ 、 $P = 20 - Q$  で示されるとする。  
この企業が利潤最大化を行なう場合の最適な生産量は？

# 独占市場の非効率性

完全競争市場の場合との比較



完全競争市場

(均衡) E 点

(総余剰)

独占市場

(供給点) M 点

(総余剰)

生産量は少なく、価格は高い  
余剰の損失が発生

(補論) 寡占の場合

(2企業のみが存在する複占のケース)